

問 競争入札の制度改善は、どこまで進めるのか

答 公正、透明性を発揮しながら、今後も契約事務を執行していきたい

村上 満 議員



質問 総合評価落札方式では、「一般競争入札の拡大、速やかな一般競争入札の導入、着実にその拡大に努めること」と「国庫補助事業については、「交付決定時に品確法遵守についての条件を付することを原則とすること」特に入札に関して、「透明性の確保、不法行為の防止発注者の関与の防止徹底に全力を尽くすとともに、厳正に対処すること」となっている。新聞によると、「談合の有無は確認できなくとも、落札率が95%以上と明らかに落札率が高すぎる場合は、一般論として、談合が行われれば落札率は高くなる」と報道されている。

町長 ミヤコーバスからの廃止申し込みがあつてから、白石市とその代替運行について協議を重ねてきた。その結果、白石市、当町ともに独自運行でバス路線を維持する結論になった。運行計画はまだないが、基本的に白石市内への直通運行を考えている。また、ミヤコーバス路線で、小原地区内の旧道を走行する区間を、代替運行では国道のみを考え、若干の時間短縮になる。小原地区の走行は、フリー乗降区間と考えている。

町長 アンケートの調査は、対象者24名中、回収枚数は20枚で、回収率は83%になっている。結果としては、20名中17名が代替バスを利用したいとの回答があり、バスに対する考え方は高く、特に、時間帯と料金については歓迎するとの回答がある。財政面の負担については、あくまでも試算の域をでていない。今までも同じような運行形態で実施した場合は、2000万円から2200万円の運行経費となり、1回2000円の乗降する形になれば、年間のバス

町長 プラン未達成項目については、今後推進に向けて方向づけをすること」と述べている。今後の改革にどのように取り組みのかが聞きたい。

Table with 2 columns: Item (入札制度、契約事務の見直し) and Status (全課, 備考). Includes a sub-table for implementation years H16-H21.

▲行革実施計画書「集中プラン」 5ページより

問 白石・七ヶ宿間バス路線廃止後の町営バスの運行計画は

答 基本的に白石市内への直通運行を考えている

梅津 政志 議員



町長 ミヤコーバスからの廃止申し込みがあつてから、白石市とその代替運行について協議を重ねてきた。その結果、白石市、当町ともに独自運行でバス路線を維持する結論になった。運行計画はまだないが、基本的に白石市内への直通運行を考えている。また、ミヤコーバス路線で、小原地区内の旧道を走行する区間を、代替運行では国道のみを考え、若干の時間短縮になる。小原地区の走行は、フリー乗降区間と考えている。

町長 アンケートの調査は、対象者24名中、回収枚数は20枚で、回収率は83%になっている。結果としては、20名中17名が代替バスを利用したいとの回答があり、バスに対する考え方は高く、特に、時間帯と料金については歓迎するとの回答がある。財政面の負担については、あくまでも試算の域をでていない。今までも同じような運行形態で実施した場合は、2000万円から2200万円の運行経費となり、1回2000円の乗降する形になれば、年間のバス

町長 アンケートの結果で、高校生あるいは高校生に對してのアンケート内容について聞きたい。また、町単独で走らせるといふことは、町にとつても大変大きな負担になると思われるが、町の経済的な負担を減らすためにこれ以外に方法はなかったのか。

町長 アンケートの結果で、高校生あるいは高校生に對してのアンケート内容について聞きたい。また、町単独で走らせるといふことは、町にとつても大変大きな負担になると思われるが、町の経済的な負担を減らすためにこれ以外に方法はなかったのか。



町長 町単独に住民の利便性を考えたバス運行を基本的に考え、今後の時間帯やバスの本数は、地域交通会議の中で議論をし、それに基づき進めていきたい。事前の予約で走らせる住民バス「デマンド方式」は大変効果的なので、今後商工会と連動し、サポート体制について検討していきたい。